

名古屋大学附属図書館ESCO事業



■事業概要

- ・延床面積: 15, 577㎡
- ・契約形態: シェアードセイビングス契約
- ・事業期間: 15年 (2009年4月より開始予定)
- ・省エネルギー率: 10.3%
- ・二酸化炭素削減率: 9.9%
- ・支援策: 先導的負荷平準化機器導入普及モデル事業(資源エネルギー庁)

■省エネルギー手法

1. 熱源設備の高効率化	高効率モジュール型空冷ヒートポンプチラーを導入 負荷に応じた台数制御
2. 空調機更新	劣化診断による空調機の更新(2台) ファンモータの高効率化
3. 空調機の外気風量調整	空調機のダンパー調整による外気導入風量の最適化
4. 空調機とファン連動解除	地下書庫エリアの環境改善 デリバントファンと空調機の連動回路の取外し 除湿器の運転見直し

空調機AC-4の内部

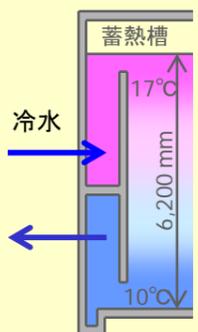


省エネルギー



高効率熱源機器(空冷ヒートポンプチラー)

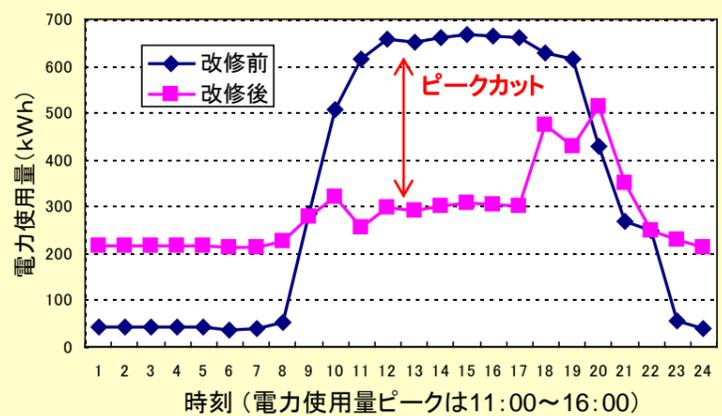
省コスト



夏季: 温度成層型蓄熱槽の利用による
ピークカット運転

冬季: クローズ回路による昼間運転

電力使用量



●省エネルギー効果

消費電力量(ピーク日)

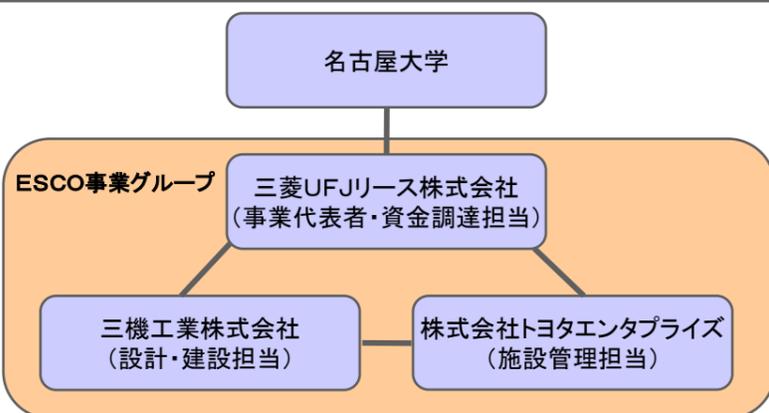
事業実施前	15,194	GJ/年
事業実施後	13,634	GJ/年
削減量	1,560	GJ/年

●省コスト効果

- ・イニシャルコスト削減
補助金制度の活用 約 30 %
- ・ランニングコスト削減
夏季夜間蓄熱運転
高効率熱源機器の導入 約 10 %

(附属図書館のみの数値を記載)

■本事業による一括施設管理



- 事業資金調達
- 省エネルギー設備導入工事
- エネルギー削減保証
- 設備運転、監視、点検、計測・記録
- 建物の清掃
- 環境衛生管理業務